

ひろさき 平成27年5月発行 第39号

# 市議会だより

3月定例会・議案など	2
委員会等活動報告	2～3
3月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議会基本条例の制定など	8

平成27年1月19日から平成27年4月30日までの出来事を掲載しました。

吉野町緑地公園  
～『ひろさきとまち百景』から～



このイラストは、制作者である津軽ひろさきマーチング委員会の承諾のもとに、使用しています。

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 議会基本条例の制定

弘前市議会の基本理念となる弘前市議会基本条例が、平成27年第1回定例会に議員提出議案として上程され、全会一致で可決。平成27年4月1日から施行されました。  
(8ページに関連記事)

### 議員定数の削減 34人→28人に

議会改革の一環として行われた議員定数の削減が、平成27年4月の一般選挙から実施されました。これにより、議会運営委員会の委員定数が、10人から9人になったほか、各常任委員会の委員定数も変更になりました。

名称	定数	所管事項
総務常任委員会	9人→7人	経営戦略部、財務部、会計課、監査委員及び選挙管理委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
厚生常任委員会	8人→7人	市民文化スポーツ部、健康福祉部及び病院事業に関する事項
経済文教常任委員会	8人→7人	農林部、商工振興部、観光振興部、農業委員会及び教育委員会に関する事項
建設常任委員会	9人→7人	建設部、都市環境部及び上下水道事業に関する事項
予算決算常任委員会	34人→28人	予算及び決算の審査に関する事項

予算決算常任委員会は議員全員で構成する委員会で、これまで特別委員会としていたものを変更しました。

# 平成27年第1回定例会

## 市長提出議案 50件

### 3月補正後の平成26年度予算

一般会計 845億5002万1千円  
 (3月補正額 12億3768万6千円)  
 特別会計 437億4555万4千円  
 (3月補正額 2億7091万3千円)

### ○弘前市協働によるまちづくり基本条例案

まちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その基本的な事項を定めるため、条例を制定するものです。

### ○平成26年度弘前市一般会計補正予算(第16号)

国の補正予算による交付金等を活用し、プレミアム商品券の発行や人口減少対策などの事業を平成27年度予算と一体的に実施するものです。 **補正額 6億9933万5千円**

## 平成27年度当初予算審査

### 質疑通告の内容(抜粋)

#### 総務費 10名、21項目

庁舎増改築事業、  
公用車管理のあり方、  
市民活動保険運用事業、  
市民課窓口アウトソーシングなど

#### 民生費 8名、11項目

子どもの学習支援事業、  
岩木地区外出支援サービス事業業務委託料、  
自立相談支援事業など

#### 衛生費 5名、11項目

ごみ集積ボックス設置事業費補助金、  
廃棄物減量等推進員関係経費など

#### 農林水産業費 10名、18項目

りんご公園整備事業、  
多面的機能支払交付金、  
地域おこし協力隊受入事業、  
りんご消費拡大・輸出促進など

#### 商工費 9名、11項目

青森県産品を海外へ!販路開拓プロモーション事業 in ベトナム、  
企業立地推進事業など

#### 土木費 10名、18項目

除雪関係(融雪対策ほか)、  
吉野町緑地周辺整備事業、  
地域公共交通会議負担金など

#### 教育費 9名、19項目

そうまロマンピアスキー場・  
岩木山総合公園指定管理料、  
教育センター等指定管理料など

一般会計 817億8000万円  
 (前年度当初予算との比較 42億7000万円増、5.5%増)  
 特別会計 455億3817万4千円  
 (前年度当初予算との比較 30億424万1千円増、7.1%増)



カラス対策のごみ集積ボックス設置を補助

### 予算案に対する討論 反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

#### ○反対 以下の点などについて反対する。

- ・大規模建設事業、箱物づくりの予算
- ・市民生活応援となっていない予算
- ・市民の求める使い道から遠い予算
- ・高すぎる国民健康保険料、介護保険料
- ・国の介護保険制度改正に伴うサービス切り捨て

#### ○賛成 以下の点などを大いに評価する。

- ・市民の安全安心を守る防災拠点や市営住宅の整備
- ・子育て、雪対策など幅広く市民生活を支える政策
- ・有利な財源を活用し、中長期的な財政運営に配慮
- ・地域福祉基金の充当による介護保険料の据え置き
- ・健康福祉改革プロジェクトによる提案の実施

## 人事案件 4件

○弘前市教育委員会の委員の任命(1名)  
前田幸子氏(再任)

○弘前市固定資産評価審査委員会の委員の選任(3名)  
新谷清敏氏(再任)、小林太郎氏(再任)、  
佐藤勝幸氏(再任)

## 議員提出議案 2件

### 条例の制定・改正

- 弘前市議会委員会条例の一部を改正する条例案
- 弘前市議会基本条例案

## 請願 1件

○日本政府に「核兵器全面禁止条約の交渉開始の立場に立つよう求める」意見書の提出を求める請願 ……不採択

## 委員会等活動報告

### 議員全員協議会

2月12日(木) 市役所

- ①経営計画の一部変更について
- ②一部事務組合等の予算案について
  - ・平成27年度津軽広域連合会計予算案
  - ・平成27年度弘前地区環境整備事務組合会計予算案
  - ・平成27年度弘前地区消防事務組合会計予算案
  - ・平成27年度津軽広域水道企業団津軽事業部水道用水供給事業会計予算案

**一 般 質 問**

各質問者が執筆しました質問・答弁の要約を掲載いたします。  
 ※敬称略。( )は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



野村 太郎  
 (憲政公明)

**吉野町緑地周辺利活用事業について**

**問** 利活用の取り組みの推移、そして葛西市長の意気込みを問う。

**答** 吉野町緑地及び煉瓦倉庫は過去3回開催された奈良美智氏の展覧会で、延べ15万人を集客したほか、中心商店街である土手町や、鍛冶町に隣接するなど、高いポテンシャルがある。26年の市長選挙のマニフェストでは、この緑地をフィールドに子供たちが一流の芸術に触れるこ

とができる拠点の整備について、民間資金の活用も視野に進めるとした。煉瓦倉庫利活用については、文化・交流拠点となる機能を望む声が多く出されており、各種団体等からも要望が行われている。

今後は都市計画道路山道町樋の口町線及び中央弘前駅前広場について、この事業と一体的に整備を行うことで、連続性と回遊性が向上し、周辺地域の活性化へとつながるものと考えている。



伏見 秀人  
 (無所属)

**たばこの健康被害防止対策について**

**問** たばこの健康被害防止対策はどのような状況にあるか問う。

**答** 健康づくりの中で、欠かすことができないと考えており、公共施設での取り組みをさらに強化して、子どもや妊産婦など、たばこによる影響を受けやすい市民の健康被害防止を進めていきたい。「18歳選挙権」法案成立と投票率向上対策について

**問** 選挙管理委員会の対応について。

**答** この引き下げにより若い有権者が全国で240万人ほど増えるので、啓発にさらなる取り組みが必要であり、出前講座「選挙のしくみ」について、より一層の周知を図る。なお、4月の統一地方選挙から、若年層有権者への政治啓発効果や投票率向上のため、集客力があり若者が多く集まるヒロロと弘前大学でも期日前投票所を開設する。



尾崎 寿一  
 (憲政公明)

**プロ野球一軍戦誘致について**

**問** 事業内容とスケジュールを問う。

**答** 4月からはフルカラーLEDの電光掲示板スコアボードが利用可能となり、今後、収容人数を1万4,300人規模と想定し、ナイター照明設備や諸室の拡充等の整備を実施。平成29年度には一軍戦のデーゲームを、平成30年度以降はナイトゲームにも対応可能となり、将来的には1万8,300人規模の野球場に整備したい。

**問** 「はるか夢球場」の改修に係る事業費の財源については？

**答** 改修する費用の財源として、国費が11億6,500万円で、内訳は社会資本整備総合交付金を7億6,500万円見込み、地域の元気臨時基金を4億円充当する。地方債が13億720万円で、内訳は補正予算債が1億円、緊急防災・減災事業債が3億円、合併特例債が9億720万円と見込み、残額の5,780万円が一般財源となる。



加藤 とし子  
 (弘前市民クラブ)

**消費者問題について**

**問** 弘前市と圏域市町村の状況を問う。

**答** 弘前圏域定住自立圏構成8市町村で市民生活センターに相談機能を集約。平成26年4月1日より消費生活相談員を1名増員し、4名体制で対応している。広域化後の10カ月間で相談件数は998件、前年度同時期と比較して397件の増で約1.7倍となった。最も多い相談内容は、運輸・通信サービス関係244件、次いで

金融・保険サービス関係141件。出前講座やFMアップルウェブでCMを流す等、引き続き様々な啓発活動を実施し、詐欺被害から市民を守る活動を推進する。〈その他の質問項目〉

- 認知症支援事業
- 市民後見推進事業
- 情報教育(ICT活用教育・情報モラル教育)
- 融雪実証研究の現状と今後の取り組み
- 任期付正職員の状況と今後
- 街なかカラス対策

**産業振興対策等調査特別委員会**



葛西市長に提言書を提出

- 1月29日(木) 市役所
  - ①新しい雪置き場の設置を含む雪対策について
  - ②地熱発電に向けた掘削調査について
- 2月6日(木) 市役所
  - ①新しい雪置き場の設置を含む雪対策について
  - ②中間報告について
- 2月20日(金) 市役所  
 本会議で中間報告

委員会では、市政の諸課題について調査研究を重ねてきました。

調査の中で、除雪や雪置き場などの「雪対策」にかかわる取り組みについては、「新しい雪置き場」が必要であるとの考えで意見が一致しました。

そして、2月20日(金)本会議終了後に、市長に対して「雪置き場の新設に関する提言書」を提出し、検討を要望しました。



栗形 昭一  
(無所属)

### 星と森のロマントピアの今後について

**問** 一般財団法人星と森のロマントピア・そうまの方向性について問う。

**答** 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」では、二期連続で純資産が300万円に満たない場合は解散することとなり、二期目となる26年度末の収支において、マイナスを解消し、300万円の資産を形成することは大変難しい状況にある。市では、一般財団法人岩木

振興公社との連携・統合を検討し、関係者と協議した結果、連携・統合を進めることとし、岩木振興公社が27年3月までに星と森のロマントピア・そうまに対して、3,000万円を拠出することになった。

**問** 温泉掘削の調査状況について問う。

**答** 新源泉掘削地点探索調査により、有望な掘削地点が確認され、27年度予算に工事費を計上し、新源泉確保に向け事業を進める。



小西 勇一  
(日本共産党)

### 農協「改革」について

**問** 家族農業の土台を一掃するものとなる、安倍政権が進める農協「改革」を市はどのように認識しているのか見解を示せ。

**答** 市としては、地域農協は、農協行政を進めるうえで欠かすことのできない組織と認識している。今後も農協改革が農業所得向上につながるよう、推移を見守っていききたい。

### 選挙について

**問** 地域住民の声にこたえて、清原地区と、泉野地区へ投票所の増設を求める。

**答** 投票所開設の可能性について、地元町会と十分な話し合いを持ちながら検討しなければならないと考えている。4月には統一地方選挙、6月には青森県知事選挙と続くので、それらの選挙終了後に見直しをしていきたい。



石岡 千鶴子  
(弘前市民クラブ)

### プロ野球一軍公式試合誘致について

**問** 設備改修費用はいくらか。

**答** 平成29年度までの改修事業の総事業費は25億3,000万円。そのうち一般財源は5,780万円となる見込みである。国の社会資本整備総合交付金、合併特例債などの有利な地方債も最大限活用していく。

### スポーツ選手の育成について

**問** オリンピックを見据えた選手の強化・育成について。

**答** 野球、ソフトボール教室など、当市の強みを最大限に生かした施策を展開し、この弘前から東京オリンピック・パラリンピック出場選手の輩出を目指す。

### いじめ問題について

**問** (仮称)「いじめ防止等対策審議会」について。

**答** 委員は、法律専門家、医療関係者、教育関係者、心理学の学識経験者、児童福祉関係者の5名を予定している。



小田 桐慶二  
(憲政公明)

### 小中学校のAED設置場所と設置方法

**問** 効果的な場所に設置する必要があるが、当市の実態はどうか。

**答** 職員室28台、玄関付近14台、保健室5台など合計53台であり、学校開放等で夜間や休日に市民が利用する際など、教職員が不在でも警備員が緊急時に対応できる体制が整えられている。

### 地域住民生活等緊急支援のための交付金

**問** 当市の取り組みについて問う。

**答** 代表的な消費喚起策としては、青森県が発行予定の「プレミアム付地域商品券」にプレミアム額を上乗せする事業を予定している。具体的には、1万円の商品券に県と市で合計2千円のプレミアムを付与し1万2千円分の買い物ができるようにする。あわせて、市独自の取り組みとして、子育て世帯、低所得者世帯、介護認定を受けていない高齢者に購入割引券を交付する事業を予定している。



蒔苗 博英  
(憲政公明)

### 弘前産りんごPRキャラバンのこれまでの総括について

**問** 23年産から取り組みを開始したりんご消費拡大戦略アップルキャラバンでどの程度の販売効果が見られたのか。

**答** 弘前産りんごの売場を1週間継続するアップルウィークは、全国で23年度453店舗、24年度603店舗、25年度578店舗で実施。これらにより販売が順調に推移し、県全体の販売額から推計した弘前

市の販売額は、22年産の338億1,000万円から25年産は381億3,000万円となり、43億2,000万円、約13%増加となっている。

### 小児予防接種の今後の対応について

**問** 新年度新たに実施しようとする小児予防接種助成計画を問う。

**答** 27年度からおたふくかぜ任意予防接種費用助成事業をスタートさせ、自己負担額を1人1回分4,000円に設定して実施する。

掲載内容は一般質問の一部です。正確には会議録をご参照ください。会議録は、市立弘前図書館・市役所などで閲覧できます。また、弘前市議会ホームページの会議録検索システムでもご覧いただけます。

一般質問の写真は、平成25年6月以降に撮影した写真を使用しています。



山 聡  
(望雲会)

**雪対策の現状について**

**問** 今冬の雪対策の現状について問う。  
**答** 早朝に行う一般除雪の出動回数は、市全体で平均22回、追従除雪1,915km、拡幅除雪延べ268km、運搬排雪延べ498km、小路除排雪62kmを実施。市に寄せられた除排雪に関する要望や苦情は、2月20日現在、合計で2,800件あり、そのうち、一般除雪に関するものが1,546件である。

**公共交通の活性化について**

**問** 公共交通を維持・確保し、将来に向けて活性化するための取り組みを問う。  
**答** 国の公共交通再編の補助制度を活用し、地域公共交通網形成計画を策定するとともに、地域公共交通再編実施計画を策定したい。また、弘南鉄道大鰐線の存続に向けた様々な取り組みを行う。さらに26年度から立地適正化計画の策定に着手し、総合的に活性化と再生に取り組む。



外崎 勝康  
(憲政公明)

**投票率アップの取り組みについて**

**問** 選挙管理委員会の取り組みについて。  
**答** 市役所内の期日前投票所を2階から1階へ移すことに関しては、本庁舎等改修後の1階ホールで実施できるよう、関係課と協議していきたい。また、バスによる出前期日前投票は、現行の他自治体の事例を参考に、研究していきたい。  
**マイナンバー制度について**  
**問** 導入目的、計画及び災害時の対応に

ついて。  
**答** 社会保障、税、災害対策の各分野で、行政事務の効率化を図り、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現するため導入されるもので、平成28年1月から利用が開始される。また、災害対策分野での利用について、市では平成23年度に被災者支援システムを導入しており、災害時等、迅速に対応できる体制を構築している。



鳴海 毅  
(憲政公明)

**今冬における除排雪及び雪置き場について**

**問** 今冬の除排雪の実績を示せ。  
**答** 2月20日現在での除排雪作業の実績については、市内全域における一般除雪は平均で22回出動しており、延べ実施延長は約2万kmとなっている。その他にも運搬排雪を498km、拡幅除雪を268km、道幅の狭い道路での小路排雪62kmをそれぞれ実施している。

**りんご樹の雪害等について**

**問** 雪害状況及び今後の対策は。  
**答** 今冬の積雪により、下枝が雪に埋まっているりんご園が多いことから、雪融けの沈降力による幹割れや枝折れが懸念される。今後はりんご園に融雪剤を散布する等し、幹割れや枝折れを防ぐ等の作業が重要であるため、県や関係団体と連携を密にして周知及び指導に努め、27年産りんごの生産量確保に万全を期する。



今泉 昌一  
(無所属)

**中心市街地活性化基本計画について**

**問** 計画策定の状況は。  
**答** 市では26年度中に、新たな計画を策定することとし、計画案の検討を行っている。  
 計画案では「回遊性の向上」「商業機能の強化」「観光機能の充実」「住環境の充実」を課題と捉え、「多くの人が集う、活気ある楽しいまち」づくりを目指していくこととしている。

**庁内FA制度について**

**問** 狙いと26年度の実績は。  
**答** 職員の主体的なキャリア形成の支援と、職員の意欲・能力の向上を図ることを目的に新たに庁内FA制度を導入した。  
 26年度は、申請者が5名で、そのうち、FAが成立した者は3名である。FAが成立した者は、27年4月1日付けの人事異動において、希望した課室に異動する予定としている。

**平成27年第1回定例会日程 (27日間) ○傍聴者の数:延べ66人(本会議6日間)**

2月20日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	3月9日(月) 特別委員会	経営計画審査、ひろさき市議会だより編集
2月21日(土)～3月2日(月)	議案熟考	3月9日(月) 常任委員会	建設、総務、厚生、経済文教
3月3日(火) 本会議	一般質問		
3月4日(水)～3月5日(木)	総務	3月10日(火)～3月13日(金)	予算審査
3月6日(金) 本会議	一般質問	特別委員会	議事整理
	一般質問、予算特別委員会の設置、経営計画特別委員会の設置、議案付託	3月16日(月)～3月17日(火)	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
		3月18日(水) 本会議	

弘前市マスコットキャラクター たか丸くん



平成26年は、延べ319人(本会議26日)が傍聴しました。  
 日程をご確認の上、お気軽にお越しください。





越 明 男  
(日本共産党)

### 地方創生に関する法律について

**問** 政府が進める「地方創生」に対する市の分析・評価は。

**答** 国の地方創生の取り組みを追い風とし、交付金等の支援措置を最大限活用しながら、経営計画に位置づけた対策を強化・加速させていきたい。

### 2015年度当初予算について

**問** 2015年度当初予算の特徴は。

**答** 弘前市経営計画の改訂と連動し、人

口減少対策の他、4つの分野別政策に登載された計画事業を中心に、予算配分の優先化・重点化を図った。

### 市民課窓口業務の外部委託について

**問** 市民の個人情報が出山ある市民課の業務を、なぜ外部委託するのか。

**答** 経営計画では、市役所の仕事力強化を図る施策として、業務の効率化・適正化を掲げている。業務の正確性が確保できる範囲を設定し、外部委託を導入する。



小山内 司  
(憲政公明)

### 4月1日から実施される事業の趣旨

**問** 地方創生の総合戦略について。

**答** 国の地方創生に先駆け、市独自の考えと判断により策定した経営計画を基に総合戦略を策定する。国の支援措置を最大限活用し、「子どもたちの笑顔あふれるまち 弘前」の実現に取り組む。

**問** 認定こども園について。

**答** 教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の機能を合わせ持つ。幼

稚園がない地域でも、教育のみを希望する子どもと教育・保育を希望する子どもが、同じ認定こども園に通えることから、地域の子どもの繋がりを就学前から得られることも考えられる。

**問** 教育委員会制度の改革について。

**答** 主な改正点は、①現行の教育委員長と教育長を一本化②首長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置③教育に関する「大綱」を首長が策定。



工藤 光志  
(憲政公明)

### 道路施設のバリアフリー化について

**問** 街づくりにおけるバリアフリーに対する考え方、道路施設等における整備の実績と今後の予定を示せ。

**答** 市は「やさしい街『ひろさき』づくり計画」を平成26年3月に策定し、市民、事業者、行政それぞれが取り組むべき進め方を示している。しかし、平成12年11月の(通称)「交通バリアフリー法」施行以前の道路施設については、高

齢者や障がい者に対する対応が十分ではないと認識している。

今後も引き続き整備を推進し、高齢者や障がい者のみならず、全ての人が安全、安心で使いやすい歩行空間の確保に努めてまいりたい。

<その他の質問項目>

- 岩木山周辺活性について
- 廃校の利活用について

## 平成27年第1回定例会審議結果 ※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：50件

予算関係：20件、条例関係：21件  
経営計画：1件、その他：8件

議員提出議案：2件

石田久	三上秋雄	佐藤哲	越明男	工藤光志	清野一榮	田中元	栗形昭一	宮本隆志	三上惇	高谷友視	下山文雄	藤田隆司	柳田誠逸	藤田昭	工藤良憲
●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●	○	○	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 平成27年第2回定例会日程 (予定)

- 6月4日(木) 議会運営委員会 会期日程等の協議
- 6月12日(金) 開会日 (本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 7月3日(金) 閉会日 (本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

### 議会本会議を傍聴しませんか

本会議(開会日、一般質問、閉会日)は、傍聴できます(午前10時開会)。市役所本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

### 定例会の一般質問のラジオ放送

FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問当日の午後8時から放送予定です。



議事堂の様子。  
 手前側が議員席、奥側が議長席と理事者（市長等）席。

## 条例制定までの経緯

### 議会基本条例策定委員会の設置

平成26年6月、議会制度等調査特別委員会の報告を受けて、条例制定に向けた調査研究を行う任意の会議として設置されました。

委員会では会議を9回開催して協議を重ね、条例素案を策定して議長へ答申しました。

### パブリックコメントの実施

平成26年12月22日から平成27年1月13日まで、市ホームページなどで意見募集を行い、4人の市民から18件のご意見をいただきました。

### 条例の制定

パブリックコメントを踏まえながら、議会運営委員会での協議を経て、議員提出議案が3月18日（水）本会議で可決、4月1日施行されました。

# 弘前市議会基本条例を制定しました。

議会改革の取り組みとして、議会基本条例の制定が全国的に広がっています。

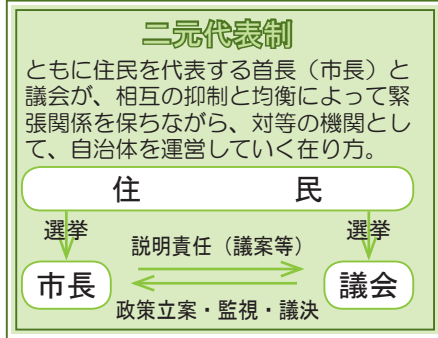
弘前市議会でも、議会の基本理念となるものとして条例を制定しました。

市議会ホームページでは、条文をご覧いただけるなど、より詳しい内容で掲載しています。

## 条例制定の趣旨

地方分権改革の進展により、地方公共団体は、これまで以上に市民の意思を反映した政策を実施していくことが求められており、二元代表制の一翼を担う議会が果たすべき役割や責務も拡大してきています。このため、議会は、合議制の議事機関という特性を活かしながら、公平、公正、透明性の高い議会運営を推進し、市民に開かれた議会をつくり上げていくべきであると考えています。

条例では、弘前市議会の基本理念、議会及び議員の責務や活動原則、市民や市長等との関係などについて定めています。



## 条例の概要

- ①市民福祉の向上と市勢伸展に寄与し、平和で安心して住み続けられるまちづくりを実現することを目的とします。（前文、第1章）
- ②議員は議会活動を通じて市民の負託に応え、議会は公平性及び透明性を確保し、市民に開かれた信頼される議会を目指していきます。（第2章）
- ③議会活動に関する情報を積極的に公開し、説明責任を十分に果たすほか、市民などの多様な意見を的確に把握するために意見交換の場を設け、市政に反映します。（第3章）

④市長等との関係については、緊張関係の保持に努め、議会審議を通じて市の政策水準の向上を図るよう努めます。（第4章）

⑤議会は、監視・評価能力、政策立案機能の強化を図るとともに、議員相互間の討議を十分に尽くして、合意形成に努めます。（第5章）

### 《条例の目次》

- 前文
- 第1章 総則（第1条）
- 第2章 議会及び議員の活動原則（第2条・第3条）
- 第3章 市民と議会の関係（第4条～第6条）
- 第4章 市長等と議会との関係（第7条～第12条）
- 第5章 議会の機能の充実（第13条～第19条）
- 第6章 議会の体制整備（第20条～第22条）
- 第7章 議員の政治倫理、身分及び待遇（第23条～第25条）
- 第8章 他の条例との関係及び見直し手続等（第26条・第27条）

このほか、政務活動費、議員の政治倫理、議会事務局の体制整備、条例の目的の達成について議会運営委員会で検証することなどについても規定しています。

## 議員の行政視察

### 会派等一般行政視察

- 無所属議員（栗形昭一・今黨）  
 1月20日（火）～21日（水）
- ①東京都府中市  
○公共施設マネジメント
  - ②東京都武蔵野市  
○公共施設再編
  - ③東京都国立市  
○公共施設マネジメント

### 行政視察受け入れ

弘前市議会  
 行政視察受け入れ実績  
 （平成26年度）  
 → 42団体、312人

### 主な視察項目

- 市民参加型まちづくり1%システム、
- エリア担当制度、定住促進関係、
- 弘前型スマートシティ構想、
- 中心市街地活性化関係など

受け入れにあたっては、弘前市内での宿泊や食事、お土産のお勧めをしており、実際に、多くの方が利用しています。

弘前市議会ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、  
 会議録検索システム、議会の日程など、  
 市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

